◇山梨県北杜市

公立の中高一貫校である甲陵中学・高等学校では、主要5教科で少人数授業を導入、中学校では高校から先生の応援を受け、理解度に合わせた少人数授業を進め、分かる授業と丁寧な授業を行っている。分からない所があるまま、次に進まないよう行き届いた指導を行っており、現在登校拒否は一人もいないとのこと。高等学校では、週間テストを行ったり、教師を選べる講座選択制を導入したりしている。また、中学・高等学校ともに二学期制を導入している。

甲陵中学・高等学校

★民生病院常任委員会★

8月4日～5日

◇長野県佐久総合病院

この病院では都会と変わらない医療設備と医療機器を備え、27の診療科で高度な専門医療を行っている。また、独自の健康管理センターを持ち、健診活動や健康教育活動に力を入れ、集団健診・人間ドックも精力的に実施している。また毎年病院祭を行い、職員やボランティアなどとともに地域住民に医学や医学知識の普及、住民との交流、職場の活性化を図っている。

ＪＡ長野厚生連佐久総合病院

昭和63年からの24時間体制の在宅ケア活動により、障害高齢者や終末期患者の自宅での生活と地域での看取りを支えており、自宅で生涯を終える方が毎年増加しているとのこと。

◇長野県佐久市

「健康長寿のまち」として注目される佐久市は、医療との連携による保健活動とともに、「減塩運動」「一部屋温室づくり運動」「食生活改善運動」などの予防活動に取り組み、昭和36年当時は脳卒中死亡率が全国一高かったのが昭和49年には全国平均を下回ったとのこと。こうした予防活動を行政と市民が一体となり「生涯現役で住みよい健康長寿のまちづくり」を目指してきた。特に重要なのは病院と地域を結ぶ「保健補導員」の活動など住民を巻き込んだ取り組みが推進されたことである。

★産業建設常任委員会★

10月5日～7日

◇宮崎県庁

みやざきブランド推進体制については、これまでの「ブランド確立戦略構想」によるイメージアップ戦略からマーケティング戦略へと転換することにより、農業者・農業団体の主体的な取り組みを基本とし、それぞれの役割分担を明確にしながら、「モノづくり」「ひとづくり」に軸足を置いた、新たな体制の整備に取り組んでいる。

◇鹿児島県南九州市

観光まちづくりについては、心が響きあう町を合言葉に観光振興に取り組み、「古い町並みに心やすらぐ町」「平和の尊さを語りつぐ町」を基本コンセプトに町並みの維持、平和情報の発信基地としての役割を推進している。

◇鹿児島県指宿市

道の駅いぶすき「彩花菜館」は、ＰＦＩ方式を導入し建設された。それは、市民・地域からの要望を受け民間活力の積極的な導入を図ることによって、民間の有する各種のノウハウや良質なサービスが提供される可能性が高く、最も地域振興に寄与できるとの考えからである。また、その効果として、15年間で約37％の経費削減が図れるとのことである。

道の駅いぶすき

★平成21年度「立山の塔」慰霊行事（沖縄県）★

期　間　11月17日～19日

参加議員　山田幸夫議員

◎砺波市議会議員の虚礼廃止にご協力ください

砺波市議会では公職選挙法に基づき、「議員の政治姿勢と虚礼廃止に関する申し合わせ」を行い、虚礼を廃止した議員活動を行っています。

市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

・冠婚葬祭、慶事、見舞い及び各種行事などにおける寄附行為の禁止（本人が出席する親戚等の結婚式の祝儀、香典などは除く）。
・中元や歳暮の贈答はしない。
・あいさつ状の禁止。
・議員名、議員団名及び会派名による年賀・暑中見舞いなどの各種広告の禁止。
・お祝い・おくやみ電報などは出さない（親戚等は除く）。
・各種団体などの諸行事に係わるお祝い、寸志、粗品、記念品、賛助金などの提供は行わない。

夢と希望に目を輝かせ ～砺波市成人式～

平成22年砺波市成人式が、1月10日、砺波市文化会館で行われました。

今年は、該当者計482人（男性235人、女性247人、昨年比52人減）のうち、408人が出席。人生の節目となる式典に臨み、大人としての自覚を新たにしました。

真新しいスーツや華やかな晴れ着に身を包んだ新成人の皆さんは、久々に会う同級生や小中学校の恩師と思い出話に花を咲かせていました。

式典では、上田市長と山田市議会議長のあいさつの後、喜田千恵美さん（柳瀬地区）が「新成人の主張」を発表したほか、満保郁美さん（栴檀山地区）が「交通安全宣言」を行いました。

喜田千恵美さん（柳瀬地区）の新成人の主張

「成人の日を迎えて」

晴れてこの日を迎えられたことをとても嬉しく思います。同時に、ここまで成長できたこと、この場に立っていられることのありがたみを強く実感しています。

私は昨年、二つの大きな経験をしました。

一つは教育実習として、福祉施設や養護学校に行ったことです。そこで出会った方々は誰もがとてもいきいきとしておられ思いやりの心に溢れていました。

私は実習中、ある利用者さんから毎日折り紙をもらいました。その折り紙はすべて違う形で、そこには一生懸命に書かれた「ありがとう」の文字がありました。たった5日間、一緒に過ごす私のために誰に言われたわけでもなく家で作ってきてくれるのです。その優しい気持ちと一生懸命な姿にとても感動しました。

もう一つは、同級生の死です。本当に衝撃で、信じることができませんでした。彼女は、誰からも好かれる素敵な子でした。一緒にこの日を迎えられなかったことに哀惜の念でいっぱいです。この辛く悲しい出来事によって、命の重さを考えさせられ、そして日々の“当たり前”の大切さを再認識しました。

私が今、夢に向かって努力できるのも、楽しいことや辛いことを経験できるのも、家族をはじめ、友人、地域の皆さまの支えのおかげです。本当にありがとうございます。成人を迎え、自由や権利を得るとともに、大きな責任も生じるようになります。二十歳という自覚をもって行動し、支えてくださる方々への感謝と敬意を忘れずにいたいです。また、「体験は成長の源泉」というように、失敗をおそれずチャレンジし、どんな体験も糧として、成長を忘れない人でありたいと思います。

市民の安全守る決意　新たに ～砺波市消防出初式～

市消防組織の気概を示す「砺波市消防出初式」が1月9日、出町市街地などで行われ、参加者が防火・防災意識を高めました。

今年は、各地区の消防団員をはじめ、少年消防クラブ員、消防署員などおよそ770名が参加。出町神明宮で1年間の無火災・無災害を祈願した後、分団ごとに砺波駅前通りを勇ましく行進しました。さらに各分団は、文化会館駐車場に一列に並び、合図に合わせて一斉に放水。防火への心意気を示しました。

無病息災を願って ～厄払い鯉の放流～

1月7日、庄川水記念公園で、庄川町金屋地区の伝統行事「厄払い鯉の放流」が行われました。

この行事は、厄年にあたる男女が、鯉にお神酒を飲ませて厄を託し、庄川に放流するというもの。今からおよそ200年前、金屋新明宮の遷宮祭で、神前に供えた鯉が長時間生き続けたことから、その強い生命力にあやかろうとして始められたと伝えられています。

今年、数え年で25歳、33歳、42歳になる同地区の男女30名が、順に5匹の鯉にお神酒を飲ませ、無病息災を願って庄川に放ちました。

初めて参加した山橋直美さん（庄川町金屋）は、「テレビで見たことはあったのですが、実際に参加してみて感動しました。鯉がちゃんと口を空けて飲んでくれて」と感激。同じく初参加の米道正裕さん（同）は、「子どものときから参加したいと思っていました。怪我や事故がなく、健康に1年を過ごせるようにと願いました」と話しました。

また、昨年に引き続き今年も、地区外の希望者が参加したほか、参加者や来場者にゆず風味の「開運七福鍋」（庄川峡観光協同組合提供）が振る舞われました。

商店街に賑わいを ～とやまっ子まちなかアートin商店街～

12月26日と27日の両日、出町子供歌舞伎曳山会館で「とやまっ子まちなかアートin商店街」が行われました。これは、商店の年末のセール時期に合わせ、親子で楽しめるイベントを街中で開催し、中心商店街の賑わいづくりを進めようと、富山県が企画したものです。

曳山会館のホールではメインイベントの「とやまっ子まちなか発表会」が開かれ、地元で合唱やフラメンコ、太極拳などのサークル活動を行っている皆さんが、日頃の練習の成果を披露しました。

また、曳山会館前の広場では、砺波商店会の皆さんが温かい鍋を振る舞ったほか、子ども向けの縁日コーナーが設けられ、親子連れの人気を集めていました。

ホットな話題

ちょっとした話題やいい話ありませんか？ご意見ご提案もお待ちしています。広報情報課広報情報係までご連絡ください。

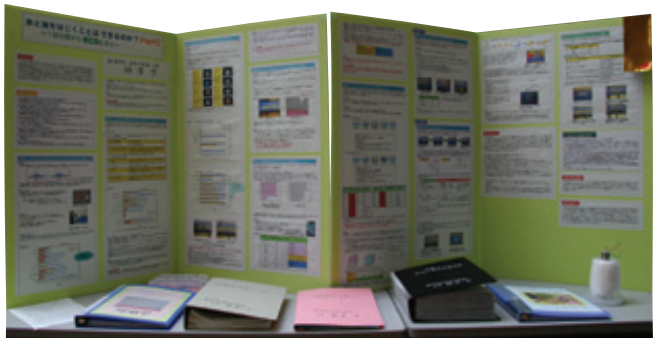
TEL 33-1111（内線 222･223）FAX 33-5325
E-mail koho@city.tonami.lg.jp

鍋澤　歩さんが科学研究の全国大会で入賞

第53回日本学生科学賞で、鍋澤　歩さん（出町中2年）の作品「水と油をはじくことはできるのか？ Part2 －1枚の葉からecoを学ぶ－」が、全日本科学教育振興委員会賞を受賞しました。

日本学生科学賞は、全国の中学生と高校生を対象とする科学自由研究のコンテストで、今年は全国から1万949点の作品の応募がありました。

鍋澤さんは、身のまわりの素材が水や油をはじく現象を詳しく調べるとともに、繊維生地やアルコール樹脂などを用いて油をはじく表面を作成する実験を重ね、水と油をはじく条件を検証。日常生活への応用を考えました。



鍋澤さんの作品

人命救助の上田健二さん（祖泉）に感謝状

用水路に転落して動けなくなった男性を救助した上田健二さんに、1月8日、砺波広域圏消防本部から感謝状が贈られました。

昨年12月29日夕方、太田地内で男性が誤って用水路に転落し、負傷して動けなくなっていたところ、散歩中通りがかった上田さんがこれを発見。男性を用水から引き揚げるとともに、寒さで震える男性を背負って、現場からおよそ50m離れた男性の自宅まで送り届けました。

上田さんは、「当然のことをしただけです。助かってよかったです」と話しました。

今年は積雪が十分！夢の平スキー場へ

今年は、昨年12月中旬から断続的に降雪があり、ゲレンデには十分な積雪があります。お気軽にご利用ください。

営業時間
午前8時30分～午後5時
（金・土・日曜と祝日は、夜9時までナイター営業）

問合せ
夢の平スキーセンター
☎37-1575

※スキーセンターのホームページでゲレンデの積雪状況が確認できます。

「広報となみ」を読んでチャレンジ！
チャレンジ広報クイズ

Q1～3の○に入る言葉または数字を今月号の「広報となみ」の中から見つけてください。

Q1.今年の成人式には、該当者計○○○人のうち、408人が出席しました。

Q2.砺波市では、がんの中でも○がんによる死亡が最も多くなっています。

Q3.2月11日（木･祝）、「2010となみ夢の平○○○フェスティバル」が開催されます。

●正解者の中から抽選で3名の方に「図書券1,000円分」をプレゼント！

応募方法

はがき、封書、ファクスまたはEメールにて、次の①～⑤を書いて応募してください。
①Q1～3の答え ②住所 ③氏名（ペンネーム可） ④年齢 ⑤電話番号
（お知らせいただいた住所、氏名などの個人情報は、広報となみへの掲載のみに使用します）
また、ご意見やイラストなどもお寄せください。
（掲載させていただくことがあります）

締切　2月10日（水）（必着）
宛先　〒939-1398 砺波市栄町7-3
砺波市広報情報課「広報クイズ」係
Eメール　koho@city.tonami.lg.jp
（件名を「広報クイズ」としてください）
FAX　33-5325

林 蒲公英さん（中央町）

※システム保守の都合上、1月30日（土）はメールの受付ができません

●先月の答えはA1.東海　A2.口座　A3.7 でした。
応募総数50通の中から、次の3名の方が当選されました。
市山あい子さん（高波）、ヤマタケさん（春日町）、竹田芳治さん（祖泉）
おめでとうございます！